

夕食前まで、ワーワー泳ぐ。
 いもをこする様に、たくさんのカッパが泳ぐ。

狭くて、泳げっこないのに。
 体が疲れている為か、体力が続かない。

しかし、横に川が流れ、プールから、
 あふれた連中は、ところかまわず、
 裸で、川のほうで、ワーワー行って、
 岩を飛び飛び、水浴びする。

客が、僕らだけで良かった。
 まわりに女がいないか、
 初めはヒヤヒヤだったが、
 そのうち、忘れて、皆、「ヤッホー」と、
 飛び込んだりして、泳ぎまわる。
 体が温まったので、川の方へ行った。

「本当に、先生、ええとこ見つけたなあ。」
 「僕も、これで、やっと、顔の、
 油と炭のシミが完全に取れるかな。」

後の方になると、温泉プールの方は、
 だいぶ、すいて来た。
 もう、ぼつぼつ、めしだ。
 皆、上がって行ってしまっ、
 二三人になったので、
 僕は、「これ、幸い」と、
 バタフライの練習を初めた。